



16 コアラの中の子守熊

冬がはじまるよ また僕のそばで
ちごくうれしそうに ビールを飲む横顔がいいね
横原敬之

【意外と難しい? 誤字脱字のチェック】

アラレス社内では、毎日、社員と内勤スタッフが集約作業をしています。集約作業とは、校正スタッフから届いた2つ（内容校正と文字校正）の校正結果を机に並べて、指摘のイキシニの判断や表現の修正をしながら、1人の校正結果にもう1人の校正結果を転記して、1つの納品物にする作業です。

内容校正者と文字校正者では、解き直しの有無により校正の手順が異なりますが、両者とも校正紙の全文章に目を通してしています。しかし、文章の意味が通らないような明らかな誤字脱字でも、片方の校正者は気づいているのに、もう片方の校正者は気づいていないケースが意外とあります。以下は、実際に片方の校正者が気づけなかった事例です。

- ① そのようになった理由を簡潔に書きな~~い~~^い。／反応して（酸化銅）~~）~~[）]できる。
- ② 次の1～4~~の~~^のまでの中から1つ選んで…／図は6月の天気図であることがわか~~あ~~^ある。
- ③ ちょうどよい温度~~を~~^を保たれる。／水の電気分解~~を~~^を化学反応式として適切なものを…
- ④ 下にあるのおとが暖気である。／マイナス極から電流が長柄こむと…
文が変です。
文が変です。

①は「必要なひらがなが抜けている」、②は「不要なひらがなが入っている」パターンです。ひらがなだと脳内で勝手に修正して、読み飛ばしがちになるようです。③は助詞の選択ミスです。文章を通して読まずに、文節単位でチェックしているとスルーしてしまいます。④は文字の入力ミス・変換ミスですね。上記の例のように、文章が変なことはわかるが具体的にどのように修正したらよいかわからない場合は、「文が変です」と指摘してください。

目で文字を追う、鉛筆で文章をなぞるだけではスルーしがちです。文章をチェックするときは、「文章の意味を考えて黙読する。」ことが大事かと思います。心の声に出して読んでみれば、意味が通らない文章に違和感を感じることができます。ぜひ、お試しを。

アラレスの年末年始休業期間
12/29（火）～1/4（月）



組版時の文字の入力・変換ミスの中には、文章として成立してしまうものがあります。さらに、その中には、図らずも「教材」のお堅いイメージとはかけ離れた文章になってしまっているものもあります。
 まるで、「教材で、こんな入力・変換ミスはいやだ。どんなミス?」というお題の大喜利のようです。気づいたときは、「IPPON!!!」と心の声に出しています。



文責：沈黙のひつじ